

# 『平成18年度を振り返って』

・・・支え合う地域を目指して！

日本海側を中心に降り続けた雪はかつてない142cmの積雪を記録し、当町でも屋根の雪降ろし事故や建物の損壊等多大な被害をもたらしました。誰もが厳しい冬を早く乗り越え、福寿草やふきのとうが芽吹く春の日差しを待ち望んでいた矢先の4月と5月に、突然あの痛ましい想像だにしない事件が発生したのであります。

毎日のようにテレビや新聞で報じられている事件は都会での出来事、こんな農山村には無縁の事と思っていただけに、私を始め町民のショックは大きいものでした。と同時にかつて経験したこともない対応に迫られていく事を誰が想像したのでしょうか。

連日のマスコミの過熱取材、更には事件の真相が不明のまま、児童虐待の有無、あるいは地域の連携の不備が取りざたされ、その無責任な声は朝も夜も続き、私たちも被害者であると叫びたくなる衝動にかられた事がしばしばありました。

こうした状況から何とか脱出できたのは、安全安心のためこうしてはられないとPTAの皆さんや一般の方による「子どもを守る会」が結成され、子どもたちの登下校の見守りのため立ち上がってくれた方々の迅速な行動でした。心から感謝を申し上げたい。

今回の事件は、思い起こせばいくつもの課題を与えられた事件であったと思います。

家庭教育とは、学校と地域の連携とは、行政の役割とは・・・今一度支え合う地域を築くため、振り返ることが必要であると思います。

「あの事件のあった藤里町」の汚名は簡単に消え去ることはできないが、第28回少年の主張秋田県大会で、堂々と私の町は藤里町ですと藤里の良さを主張した藤中生、また能代市山本郡中学校防火弁論大会で、支え合う事にかかせないのは声を掛け合うことだと主張した藤中生、東京マラソンで敢えて藤里町のゼッケンを着けて完走した役場職員にこれからの藤里町に大きな勇気をいただきました。

安全安心のためご協力いただいている関係者の皆さんや、勇気を与えてくれた皆さん、そして、この事件で何かとご指導いただきお力添えをいただきました秋田県及び関係各機関、心のケアを支援していただきました笠松病院長、秋田大学の佐々木助教授に心から厚くお礼を申し上げます。

最後に、尊い命を絶たれたお二人の児童に対し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

藤里町長 石岡 錬一郎

## 藤里町治療継続支援事業 のご案内

藤里町では、人工透析治療を継続的に受ける必要がある方に対し、支援事業を行っています。対象となる方は、藤里町に住所を有し、人工透析のために週2回以上の通院をし、交通費として他の助成を受けていない方に限ります。

### 【助成限度額】

- ◎能代市以遠の場合・・・2万円
- ◎北秋田市の場合・・・1万5千円

### 【お問い合わせ先】

町民生活課 健康福祉係  
☎(79) 2113 (内線135)

## サル・クマ出没注意!!

今年も昨年に引き続き子連れのクマが多いと予想されます。山に入る際は十分に注意してください。

子グマを目撃した際はすぐに避難してください。親グマに襲われる可能性があります。

また、サルも多く出没すると予想されますので、サル・クマの目撃、農業・人身被害にあわれた方は、すぐ役場又は猟友会へ連絡してください。さるようお願いいたします。

### 【連絡先】

事業課 林業振興係

☎(79) 2115 (内線164)

山本地方連合猟友会藤里支部

☎(79) 2286 (武藤設計事務所)